

第7回 入間市市民意識調査 (ダイジェスト版)

「入間市市民意識調査」は、市民のみなさんのご意見を今後の市政に役立てるために、定期的
に実施してきたものです。このパンフレットは、市民のみなさんのお考えを広く紹介するために、
平成13年度版「第7回 入間市市民意識調査」を要約したものです。

今後一層、市政にみなさんのご意見を反映するよう努めるとともに、市政へのご理解を得るよう
努力したいと考えております。

平成13年12月

入間市企画部広報広聴課

入間市民憲章

わたくしたちは、武蔵野の自然にめぐまれた
入間市を愛し、より明るく、豊かな文化のまち
をつくるため、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然を愛し、
環境のよいまちをつくりましょう。
1. きまりを守り、
平和な住みよいまちをつくりましょう。
1. 健康で働き、
希望にみちたまちをつくりましょう。
1. 教養を高め、
心豊かなまちをつくりましょう。
1. お互いに助けあい、
やすらぎのあるまちをつくりましょう。

【調査の概要】

- (1) 調査地域
入間市全域
- (2) 調査対象
市内在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 抽出方法
無作為抽出法により2,900人を抽出
- (4) 調査方法
郵送法
- (5) 調査期間
平成13年8月15日～9月14日
- (6) 回収数(率)
1,818人(62.7%)

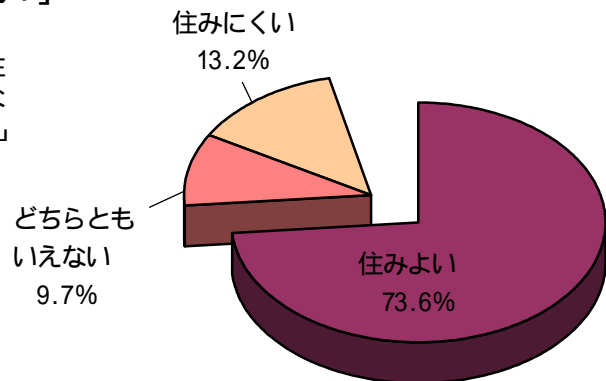
【問い合わせ先】

入間市企画部広報広聴課
(<http://www.city.iruma.saitama.jp/>)
TEL 042-964-1111
(内線 3123)

住みよさと定住意識

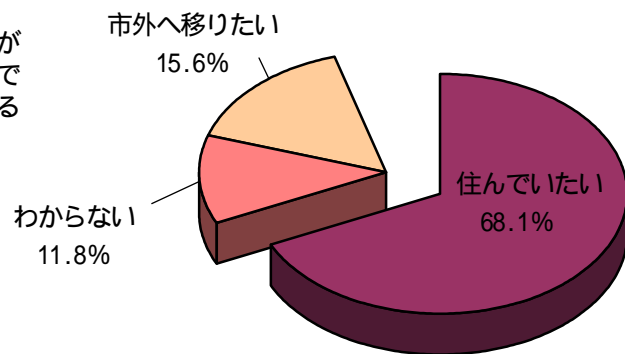
73.6%の市民が、入間市は「住みよい」

入間市は「住みよい」という人が73.6%で、「住みにくい」という人が13.2%、「どちらともいえない」という人が9.7%です。このように「住みよい」という人が7割を超えています。



68.1%の市民が「入間市に住んでいたい」

これからも入間市に「住んでいたい」という人が68.1%で、「市外へ移りたい」という人が15.6%です。このように入間市に住み続けたいと考えている人は7割近くになっています。

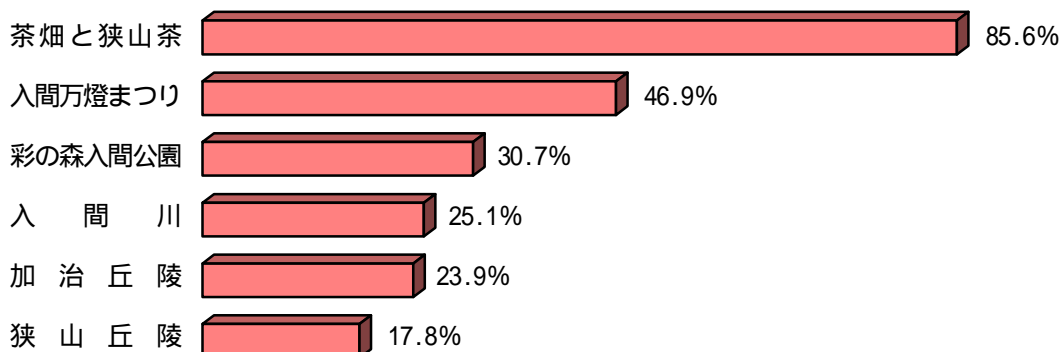


入間市の魅力

「茶畑と狭山茶」「入間万燈まつり」「彩の森入間公園」

「入間川」「加治丘陵」「狭山丘陵」が入間市の魅力

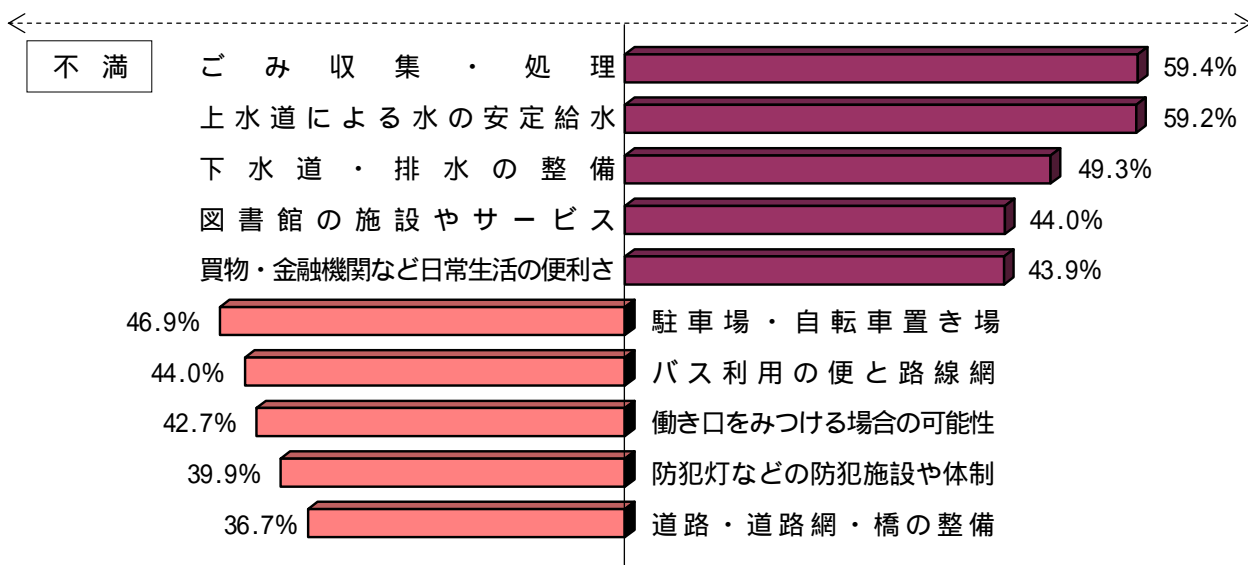
入間市の環境や施設、景観、行事などの中で入間らしい魅力や個性を感じるものは、「茶畑と狭山茶」が最も多く、以下、「入間万燈まつり」「彩の森入間公園」「入間川」「加治丘陵」「狭山丘陵」などが続いています。



生活環境の満足度

「駐車場・自転車置き場」「バス利用の便と路線網」に不満

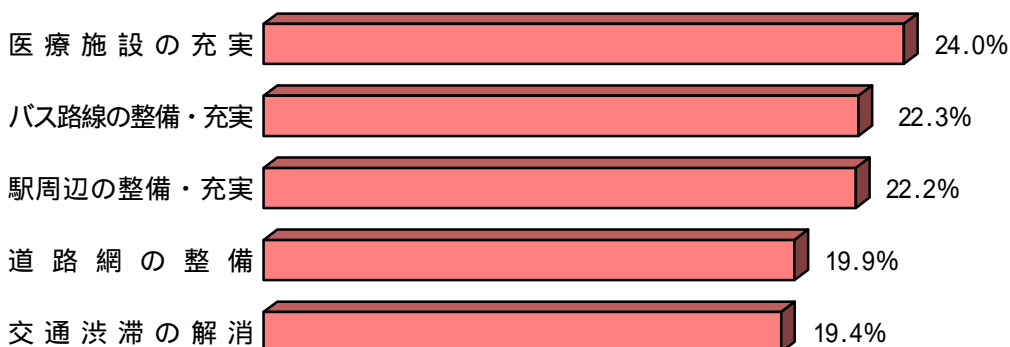
市内の生活環境に対し、市民が満足していることは「ごみ収集・処理」「上水道による水の安定給水」「下水道・排水の整備」などです。一方、不満が多いのは「駐車場・自転車置き場」「バス利用の便と路線網」などです。



優先的に取り組むべき施策

「医療施設の充実」「バス路線の整備・充実」「駅周辺の整備・充実」 「道路網の整備」「交通渋滞の解消」に期待

今後優先的に取り組みが期待されている施策は、「医療施設の充実」が最も多くなっています。ほかには「バス路線の整備・充実」「駅周辺の整備・充実」「道路網の整備」「交通渋滞の解消」など、交通問題に対する施策が期待されています。

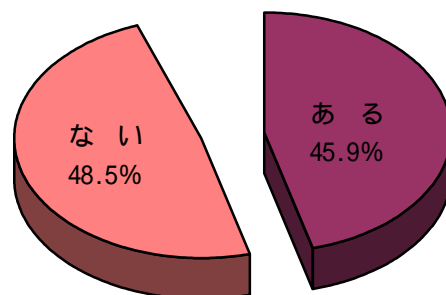
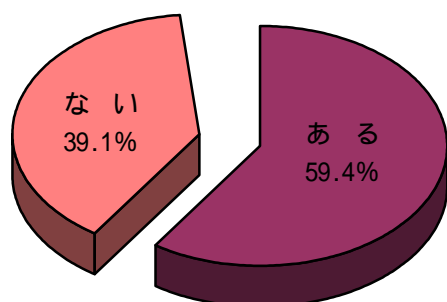


防災訓練の参加と災害時の対応

59.4%の市民が防災訓練に参加し、家庭で災害に対する備えがあるのは4割台半ば

市や自治会が主催する防災訓練に参加したことが「ある」人は59.4%で、「ない」人は39.1%となっています。

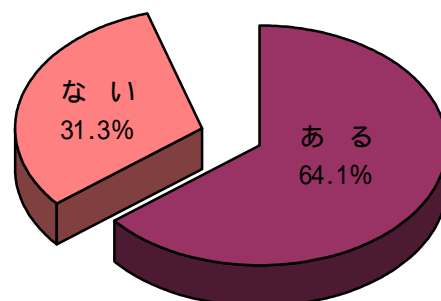
また、災害時の対応について、家族で決めてあることや準備していることが「ある」人は45.9%、「ない」人は48.5%で、準備している人としていない人の割合はほぼ半々となっています。



市政への関心

64.1%の市民が、市政に「関心がある」

入間市政に「関心がある」という人が64.1%で、「関心がない」人の31.3%を大きく上回っています。



人権に関する差別経験

18.3%の市民が差別経験

人権に関して差別を受けた、または見聞きしたことが「ある」人は18.3%で、「ない」人は74.8%となっています。

